



1 29 高萩薬剤師会、(株)アクティオ茨城支店と 災害時協定

大規模災害の発生時に適正、迅速な医療救護活動を図るため、高萩市は、高萩薬剤師会(大高達成会長、会員数23人)と「災害時の医療救護活動に関する協定」を結びました。大規模災害発生時に会員の薬剤師を救護所などに派遣していただき、調剤や服薬指導のほか、医薬品集積所での仕分けや管理作業を行っていただく内容です。市役所で行われた締結式には、小田木市長と大高会長、古澤久男理事ほか、関係者が出席。それぞれが協定書に署名して交換しました。小田木市長は「災害時の活動はさまざま。薬剤師の皆様には東日本大震災の時にも大変お世話になりました。今回の協定は、市民の安全・安心に大いに期待できます」とあいさつ。大高会長は「高萩薬剤師会では、万が一の際のために、様々な対策をとっています。市民の命を守るため協力していきたい」と話されました。



また、同日、建機レンタル企業の(株)アクティオ茨城支店と「災害時における物資供給に関する協定」を締結しました。同社の加藤浩二茨城支店長、椎名卓朗高萩営業所長が出席し、協定書に署名をしました。協定は、災害発生時に市役所の要請に応じて、同社の持つ機材を優先的にレンタルしていただく内容。発電機や簡易トイレ、投光器など、同社の扱う機器は、災害時に様々な場面で有用であり、市では迅速かつ柔軟に機材の調達が可能となります。加藤支店長は「弊社には、全国500カ所以上の拠点がございます。グループの力を最大限活用し、市の要請に応えたい」とあいさつされました。



1 26 穂積家で防火訓練

法隆寺金堂壁画の焼損(1949年)を教訓に設けられた文化財防火デーの1月26日に県指定文化財「穂積家住宅」で、消防署員と教育委員会関係者ら30人が参加して防火訓練を行いました。「穂積家住宅の母屋から出火」との想定で訓練を開始。管理人が観光客を避難誘導し、消防署への通報などの手順を確認。消防署員がタンク付ポンプ車やはしご車で駆け付けると延焼を防ぐため一斉に放水を行いました。その後、教育委員会職員が水消火器などを使った、初期消火の訓練を行いました。



1 31 「交通安全市民のつどい」と 「交通事故追放豆まき大会」

交通事故の追放を願い「交通安全市民のつどい」と「交通事故追放豆まき大会」が文化会館で行われました。オープニングで第一幼稚園の園児が「はぎまるダンス」などを披露。交通安全市民のつどいでは、小中学生を対象に行った交通安全ポスターコンクールの表彰や、①安全運転に努める②飲酒運転の根絶に努めるなどの大会宣言が採択されました。続いて、節分にちなみ交通事故が逃げ出すようにと豆まき大会が行われ、袈裟の市長や議長、警察署長など関係者が「交通事故の鬼」めがけて豆をまきました。





おめでとうございます

平成26年度茨城県市長会自治功労者表彰
元民生委員・児童委員 関根 利雄 さん(上手綱)

平成26年度(公財)茨城県体育協会会長褒状授与式
体育功労者賞 和田 博 さん(島名)

平成26年度茨城県健康づくり推進事業功労者表彰
保健福祉部長賞

平澤 孝敏 さん(平澤歯科医院)

山田 博元 さん(高萩歯科クリニック)

松尾美代子 さん(高萩市保健推進員)

平成26年度茨城県元気アップ賞受賞

ヘルスロードロングウオーク賞

増田 洋 さん(安良川)

2 浜辺で宝探し 15 ビーチコーミング

高萩海水浴場で、小学生を対象としたビーチコーミングが行われました。この事業は「いきいき萩っ子育成事業」の一つ。ビーチコーミングとは、砂浜をコム(C o m b =くし)でとくようにして、貝殻などの漂着物を拾い集め、それらを観察することで自然について学ぶことです。茨城大学教育学部上栗伸一准教授の指導のもと、公募で集まった小学生 22 人が、浜辺を散策し、小さな貝や角の取れたガラスなどを拾い集めました。集めた貝殻などは、公民館に持ち帰られ、スケッチや顕微鏡で観察するなどして、生物の種類を調べました。その後、集めた貝殻などを小瓶に飾り付け、それぞれ自分だけの小さな水族館風のオブジェを作りました。(今月の表紙)



高萩市のフェイスブックでは「まちの話題」を随時配信しています。市公式ホームページからご覧ください。また、アカウントをお持ちの方は、高萩市のフェイスブックに「いいね!」をお願いします。

2 将来の公共施設について課題議論 11 シンポジウム開催



高萩市公共施設マネジメントシンポジウムが、総合福祉センターで開かれました。公共施設の今後の在り方について検討を進めている市が、市民と公共施設に関する情報や問題意識を共有し、次世代に負担を残さない方策を考える場にしようと初めて企画。冒頭で市長から高萩市の公共施設の現状や課題、計画の進捗状況を説明。その後、東洋大学教授の根本祐二氏による基調講演と有識者や市民によるパネルディスカッションが行われました。講演で根本教授は「高萩市でも問題は深刻。現世代の利益を優先すれば、子どもたちにつけをまわすだけ」と公共施設マネジメントの重要性を訴えました。また、パネルディスカッションでは、根本教授がコーディネーターを務め、パネリストの建築家で東洋大学理学部建築学科選任講師の藤村龍至氏、生化学工業(株)取締役高萩工場長の石川慎一氏、若者代表として今年成人を迎えた高橋優香理氏、市経営戦略部長の小野忍氏から「街のビジョンを明確にすることが大切」「市民サービスを低迷させないインフラカットが必要」などとの意見が交わされました。

2 春の訪れ 18 ~ 3 手作りひな人形まつり

「手作りひな人形まつり」が市民センターや駅周辺の店舗で開催されました。同まつりは「NPO 里山文化ネットワーク」の主催で7回目を迎えました。今年は、「春のなごみ」をテーマに展示。布や和紙、ガラス、陶器など様々な材料で作られた“つるし雛”や“ひな人形”など約 600 点が会場を彩りました。また、期間中は、ひな人形づくり教室やミニコンサートなども行われ、来場者は一足早い春を楽しみました。

